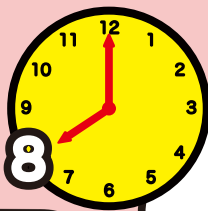


スマートフォン・ゲーム機等の使用について

イマハチルール



居間8ルール

各家庭でのルールづくりがぜひ必要です。
市内共通のルールとマナーを
親子で実行しましょう！

共通（児童・保護者）の約束

スマートフォン・タブレット・ゲーム機等の通信機器を持っている場合、
夜8時には、**居間（リビング）の決められた場所に置き**、使用しません。
保護者はそれを確認します。

児童の約束

- ① 名前やメールアドレス及び個人が特定される内容や写真等は、書き込みません。
- ② 無料通信アプリ等を利用するときには、他人の悪口や自分が言われて嫌だと思えることは書きません。
- ③ 困ったことやわからないことがあったら、必ず親や先生に相談します。

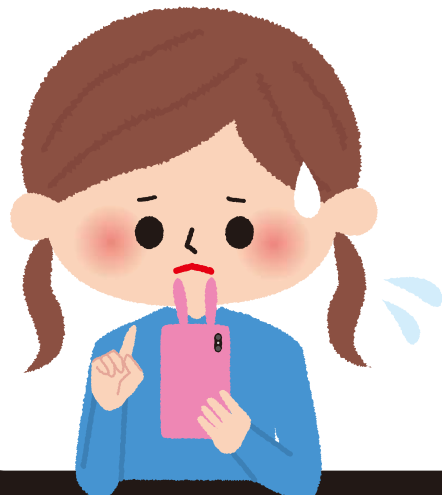


保護者の約束

- ① 子どものスマホ※等の通信内容や通信時間をいつでも確認できるようにします。
※スマホ…スマートフォンの略
- ② 子どもを有害サイトから守るためフィルタリングを付けます。

なお、スマホ等の所持は、「**教育上のリスクが大きい**」ことから、**買い与えないことを推奨**します。

実は怖い！スマホ等の長時間使用！！ 依存的になった場合、こんな問題が発生！！



健康被害

視力障害、睡眠障害となったり、生活リズムが乱れます。
昼夜逆転になったり、イライラすることが多くなったり等の症状が出てきます。

学習能力の低下

学習時間が減少し、集中力が低下し、成績が下がります。
データ上も長時間の使用は、テストの正答率を下げることで報告されています。

コミュニケーション力の低下

親子関係の希薄化、社会性の低下につながります。
子どもは体験や直接会話から、社会性を身に付けていきます。

トラブルの発生

いじめや友人関係のトラブル、時に犯罪に巻き込まれることも。
高額請求、犯罪勧誘、個人情報漏えいなどトラブルが増えています。

① 自分のケータイ、スマホを持っていますか？

→ A「持っている」小学生 平均 20% 中学生 平均 52%

小1は8% → (学年が上がるにつれ次第に増加) → 中3で62%が所持

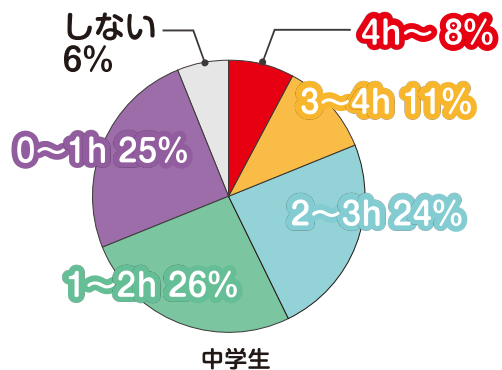
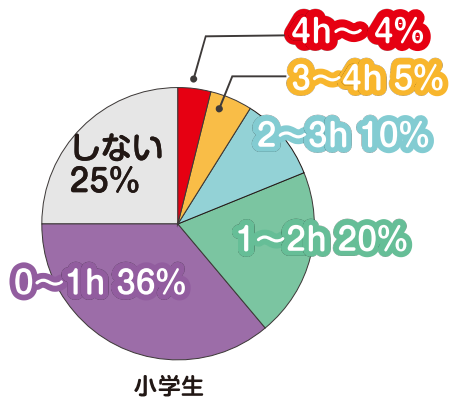
義務教育(小中学校)の児童・生徒には、ケータイ・スマホ・タブレット等は、
買与えないことを推奨します。(子どもの所持は最終的には保護者の判断です。)

② 毎日どのくらいインターネットを利用していますか？(ゲーム、SNS、LINEを含む)

毎日2時間以上 小学生 約19% 中学生 約43%

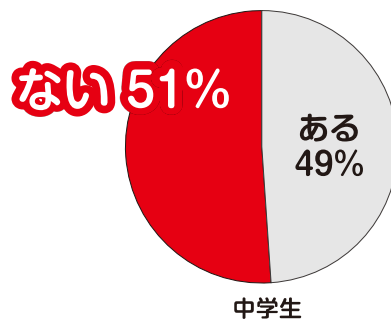
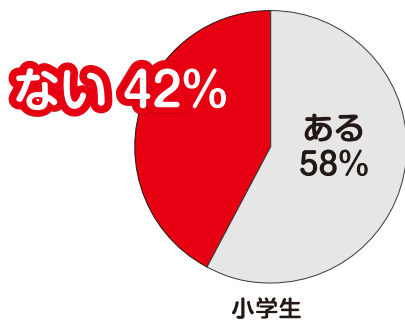
毎日4時間以上 小学生 約4%(193人) 中学生 約8%(202人)

※4時間以上は「依存」になりかけています。



③ ケータイ・スマホ・ネットの使い方への親子での約束がありますか？

小・中学生とも、親子で約束があるのは、半分しかありません。



④ SNSなどで写真や動画、文章などを送信され、嫌な思いをしたことがありますか？

→ A「ある」小学生 82人(2%) 中学生 164人(6%)

いじめやトラブルにつながるリスクがあります。

児童・生徒へのアンケート調査(令和元年10月実施)より

ご家庭で作ってみませんか?「スマホ『愛情』ボックス」

～滝沢小の取組から～

情報モラル教室を実施し、その中で、「スマホ『愛情』ボックス」を作成しました。

このボックスは、各自で準備した箱に、「8時には、スマホをこの箱に入れる」など、自分で決めた約束を書き込み、居間に置いて活用するものです。

児童からは、「自分でボックスを作る経験を通じて、「今までの自分の生活を振り返ることができたし、自分から生活を直していこうという気持ちになった。」などの前向きな感想が寄せられています。

